

2012.11.1第1130号  
ISSN 0913-0217

発行人／長 瀬 清  
発行所／北海道医師会  
〒060-8627  
札幌市中央区大通西6丁目  
TEL(011)231-1432  
FAX(011)221-5070

# 北海道医報

2012  
**11**  
月号



北海道 美の遺産

羽山 雅愉 黄昏・釧路 (00-3)

北海道立釧路芸術館 所蔵

# CONTENTS

北海道医報  
平成24年11月1日 第1130号

指標／第一期医療費適正化計画の進捗状況と 次期（第二期）医療費適正化計画について……………畑 俊一……………3
医の倫理綱領……………12
報告／第138回北海道医師会臨時代議員会 平成24年臨時総会……………13
報告／地域医療に関わる地域別意見交換会（9）……………16
報告／平成24年度全国医師会勤務医部会連絡協議会……………19
生涯教育シリーズXX／高齢者肺炎と誤嚥性肺炎……………小場 弘之……………22
投稿／僻地医療の実態……………若山 芳彦……………28
投稿／『BLS・気道確保とAED』講習会報告……………浅井 康文、森 和久……………32
税務相談室／医療法人が支払う損害賠償金、交際費について……………中村 孝一……………35
北海道医歌人会詠草……………37
会員のひろば……………暮地本宙己、石川 晶、三橋 裕一、渡邊 武史、泉 直宏 門脇 純一、吉野 成一、佐々木廸郎、高坂 研一……………38
大通公園を望む窓辺から……………48
郡市医師会だより／札幌市医師会 市民対話集会2012……………井上 善之……………50
報告／北海道医師テニス大会および北海道テニス・メディカル研究会報告……………52
医学会・医学講演会等 開催情報……………54
中央54 道南62 後志63 日胆64 空知66 道北68 北見72 道東73
新規指定医療機関……………75
その他開催情報……………75
日医認定産業医制度研修会開催一覧……………76
道医の動き……………77
会議室／第11・13回 常任理事会……………78
売貸医院・医師招聘情報……………80
討報……………83
季節風／医師会の組織率低迷を考えるー加入率は増加するかー……………山科 賢児……………86

## お知らせ

医療機関関係職種の医療機関採用時における免許証原本の確認の徹底について<sup>21</sup>  
WHO西太平洋地域事務局（WPRO）への絵画の寄贈について<sup>27</sup>  
第47回北海道ドクターズゴルフ大会開催のお知らせ（予告）<sup>31</sup>  
電子メールによる会員への情報提供<sup>34</sup>／研修会等への託児サービス併設費用の助成<sup>36</sup>  
女性医師等支援相談窓口をご存知ですか？<sup>36</sup>／第26回 全道医家磯釣大会<sup>49</sup>  
北海道医報へのご投稿等について<sup>51</sup>／ホームページ フォトギャラリー作品募集<sup>53</sup>  
北海道医師会サポートセンターのご利用<sup>83</sup>／電子メールアドレス発行申し込みのご案内<sup>84</sup>  
グループ保険のご案内<sup>85</sup>

北海道医師会会員数 8,361名 (-22)    うち日本医師会会員数 5,982名 (-23)  
A    2,526名 (-4)    B2    4,575名 (-10)    C2    159名 (-1)  
B1    590名 (-2)    C1    112名 (+2)    C3    399名 (-7)  
平成24年9月30日現在 ( ) 内前月比

## 作品紹介

はやま まさよし  
羽山 雅倫 黄昏・釧路 (00-3)

1943（昭和18）年～  
釧路市生まれ。  
2000（平成12）年の作品。油彩、キャンバス(130.3×194.0cm)。

1968年、北海道教育大学釧路分校美術科を卒業。道内各地で美術教師の職に就きながら制作を続ける。  
1976年に第31回全道美術協会展（全道展）知事賞受賞、1987年より全道展の会員。道内の実力派具象画家が出品する「北の現代具象展」や「具象の新世紀展」の主要作家としても活躍中

## 北海道美の遺産

写真・資料提供：北海道立釧路芸術館  
（釧路市幸町4丁目1番5号 0154-23-2381）

である。

◇ ◇ ◇  
本作品は故郷・釧路市の風景を描いたもので、画面手前に流れているのは釧路川である。穏やかな川面には整然とした建物が映りこみ、街の静けさが強調されている。  
黄昏の光に染まる街並みは作者の心象風景だろうか。現実から離れた光景は気品高く、幻想的な世界観を生み出している。  
2000年、「北海道・港町浪漫展」（道立釧路芸術館・道立函館美術館）に出品。2005年には網走市立美術館で「羽山雅倫展」を開催。現在は小樽市に在住し、「黄昏」シリーズ等を制作中。